

計画の進行管理

■進行管理の基本的な考え方

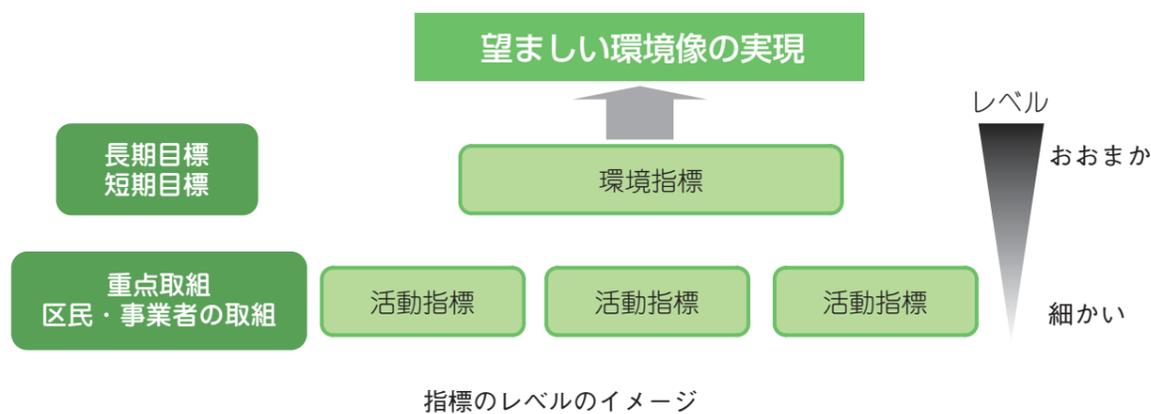
◇PDCAサイクル

この計画を実効性のあるものとしていくためには、計画に書かれていることを着実に実行に移し、その進捗状況や成果を点検・評価し、さらにそれを次の取組にフィードバックさせていくしくみが重要です。そこで、この計画の進行管理は、下図のようなPDCAサイクルを用いて、[PLAN・計画] → [DO・実行] → [CHECK・点検] → [ACTION・見直し] という流れで行います。

環境指標と活動指標

本計画では、指標による目標の進捗状況管理を行います。4つの望ましい環境像や長期目標、短期目標については環境指標を設定し、目標を立てて進行管理します。また、施策や重点取組については活動指標で進捗状況を把握します。

- ①環境指標… 区の事業や区民・事業者の取組によって環境がよくなっているか、それとも環境に影響を及ぼす事象により環境が悪くなっているのを見る「板橋区全体の環境のものさし」です。
- ②活動指標… 各主体が期待される取組を着実に実行に移しているかどうかという、「取組の進捗状況」です。環境指標に比べて細かい指標を設定し、その推移を把握します。



◇区民参加による進行管理

環境指標などを用いて計画の点検・評価した結果は「環境白書」としてとりまとめた上で公表し、区民からの意見を募集します。また、区民が参加する組織「いたばし環境区民の会（仮称）」や資源環境審議会により、計画の進捗状況や効果を検討します。

板橋区環境基本計画（改訂版）概要

■発行日／平成17年3月

■編集・発行／板橋区資源環境部環境保全課

〒173-8501 板橋区板橋2-66-1 TEL03-3579-2596
ホームページhttp://www.city.itabashi.tokyo.jp/kankyo/

刊行物番号

16-210



未来・創造
ITABASHI 21

板橋区環境基本計画 （改訂版） 概要

いま、
認識すべき
環境問題

今日、私たちは20世紀、とりわけ戦後の科学技術の発達と経済成長の恩恵を受け、便利で物質的に豊かな生活を享受してきました。その反面、自動車交通量の増大に伴う大気汚染や大量に排出する廃棄物の問題、電気やガス等の大量のエネルギー消費による地球温暖化問題など、人間活動が活発になるにつれて環境に様々な問題が生じ、私たちの将来が危険にさらされています。このため、私たちは今こそ持続的発展が可能な社会の構築のために、ライフスタイルの転換を含めたあらゆる角度における対応が求められています。

環境都市

「エコポリス板橋」

をめざして

平成17年3月
東京都板橋区